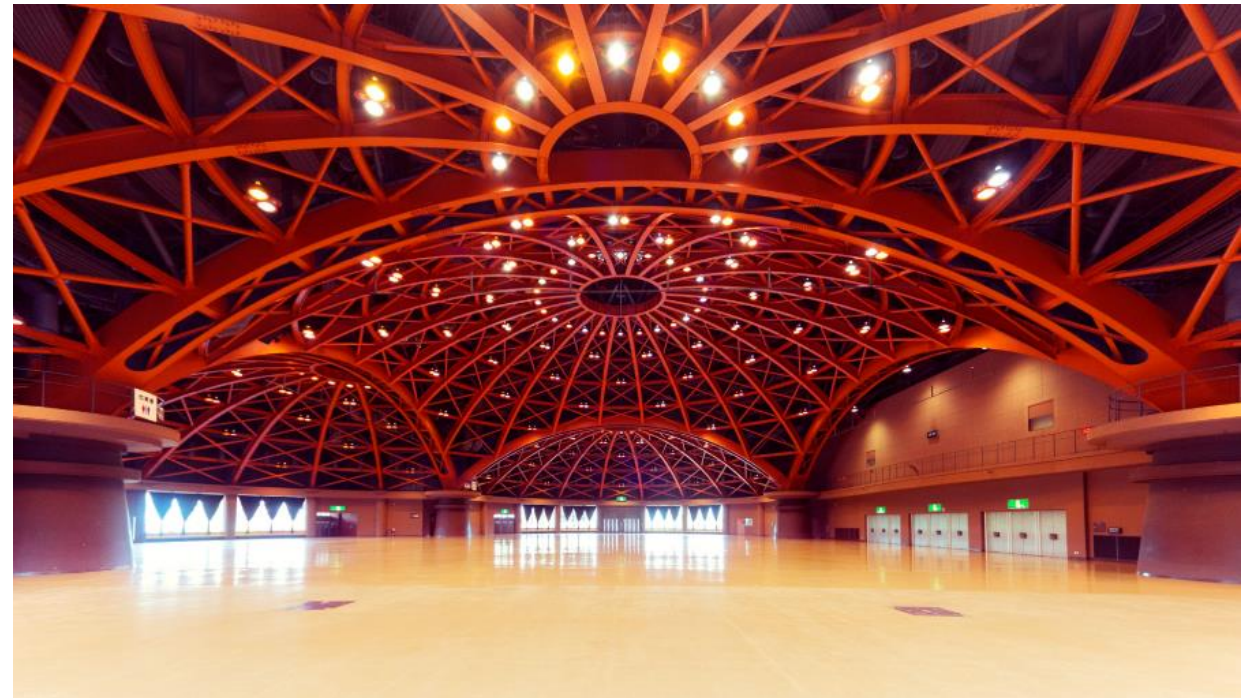
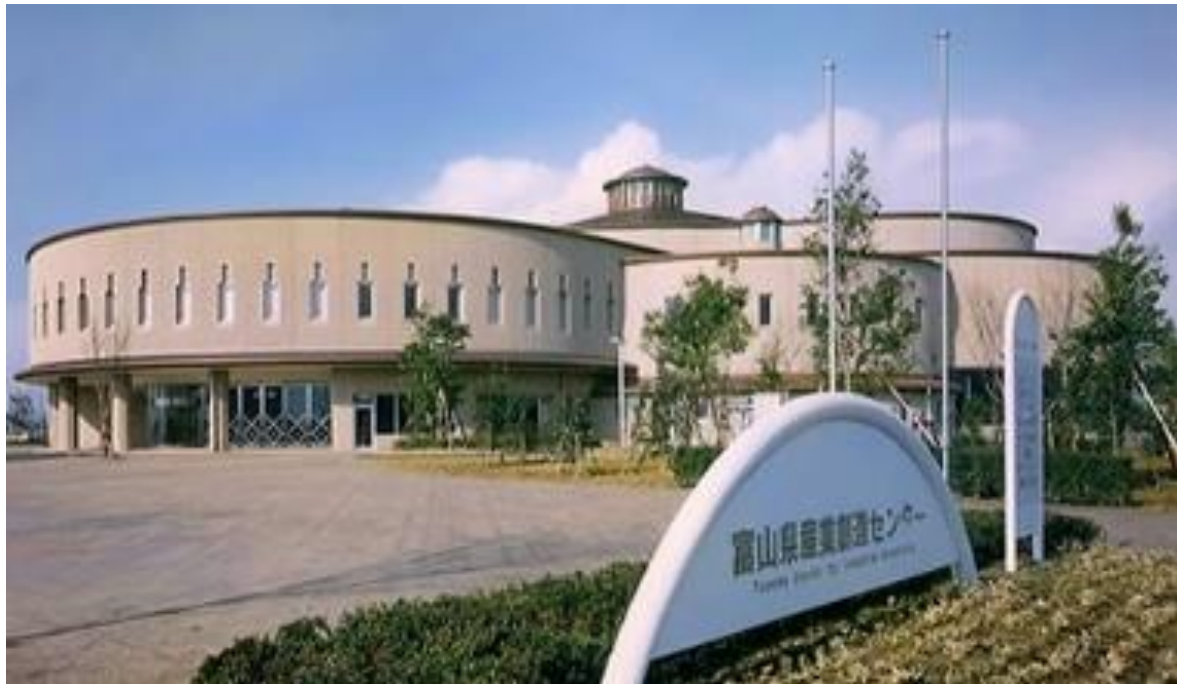
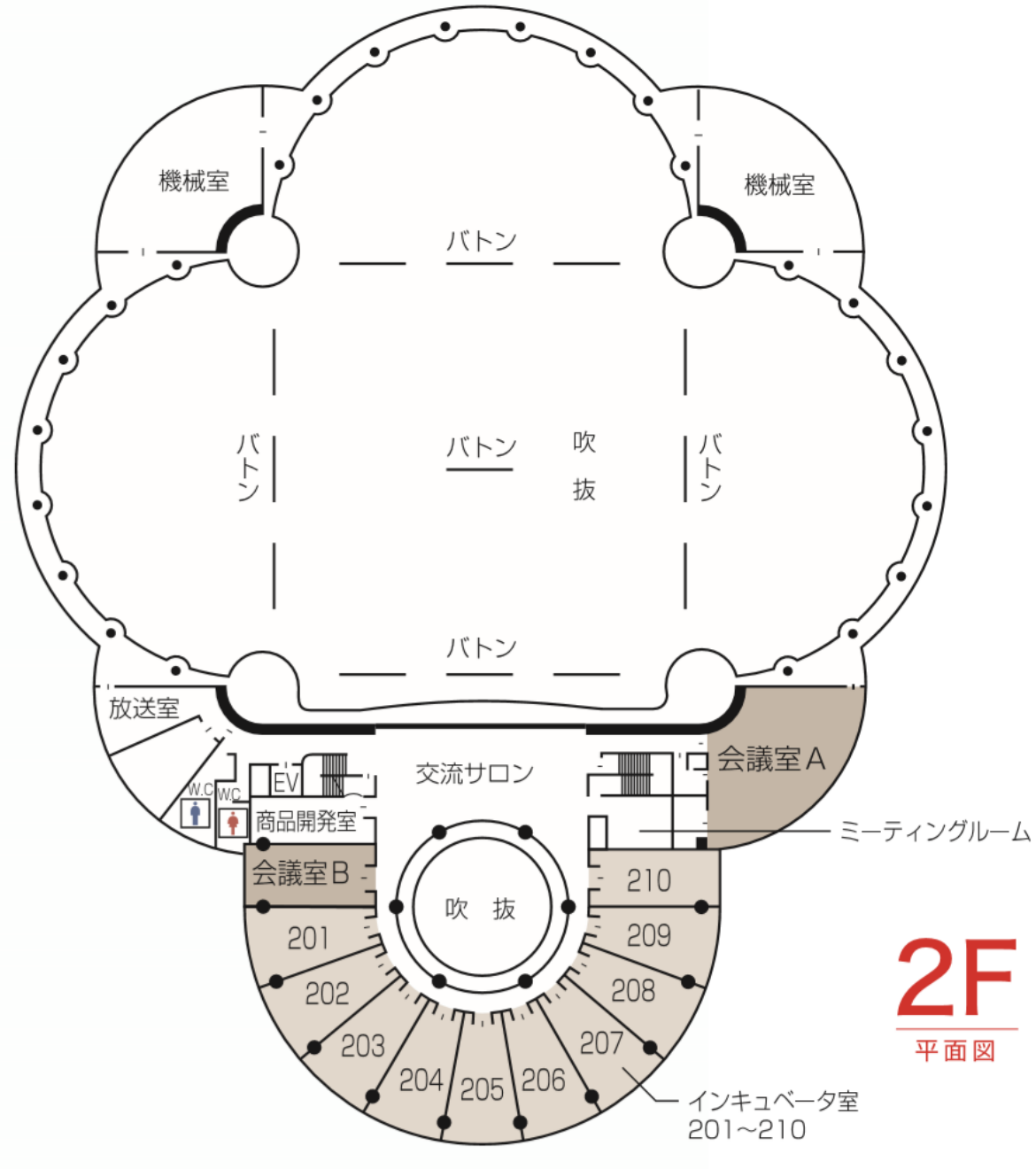
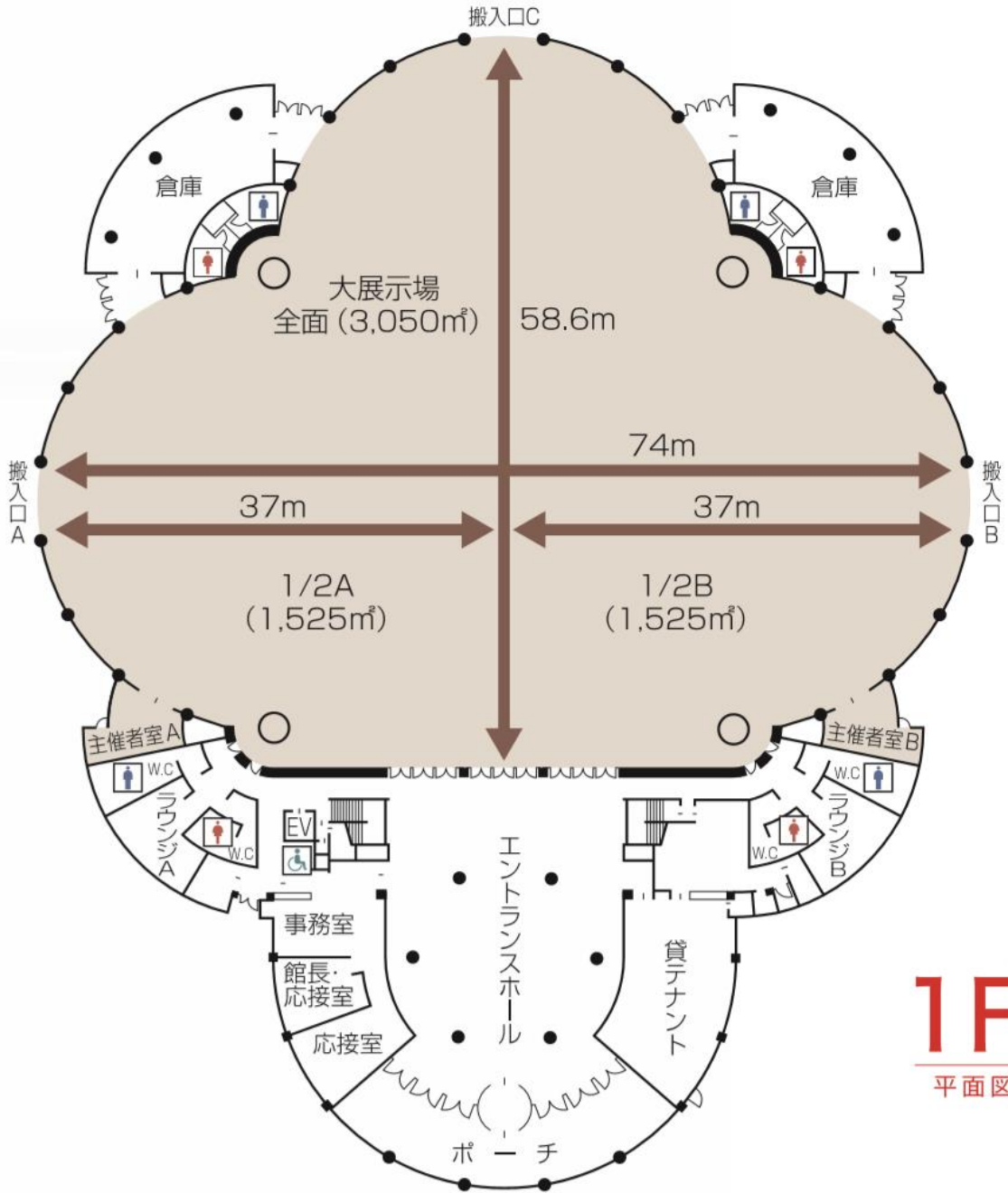


高岡テクノドーム別館整備事業について

高岡テクノドームの概要



開館	H3年(1991年)開館
展示場	大展示場 3,050m ² (最高部18m) 主催者室2室
付属施設	会議室2(大1、小1) インキュベーター室10 応接室、交流サロン等
駐車場	約1,000台
所有・運営	(一財)富山県産業創造センター



高岡テクノドーム周辺環境の変化



立地環境

高岡テクノドーム周辺は、北陸新幹線新高岡駅に近接していることに加え、道路網整備による県内外からのアクセス向上、隣接する大型ショッピングセンターの増床などにより、**立地環境の魅力が向上**している

高岡テクノドーム別館整備の経緯と今後のスケジュール

年度

2019
[R1]

2019(R1).12 県議会で高岡テクノドームの増改築を表明

2020(R2).1 高岡テクノドーム機能拡充検討会(～2020.6)

2020
[R2]

2020(R2).7 高岡テクノドーム別館整備基本計画策定

2020(R2).10 基本設計(～2021.3)

2021
[R3]

2021(R3).6 民間活力導入可能性調査(～2021.12)

2022(R4) 実施設計

2022(R4) 市場調査・
インタビュー調査

2022(R4) 実施方針の策定

2023(R5) 建設工事(～2024)

2023(R5) 特定事業の選定

2023(R5) 運営事業者公募、
契約(R5年度中)

2024(R6) 開館準備、開館(R6年度中を予定)

高岡テクノバーム別館 設計等概要



平面図(1階)

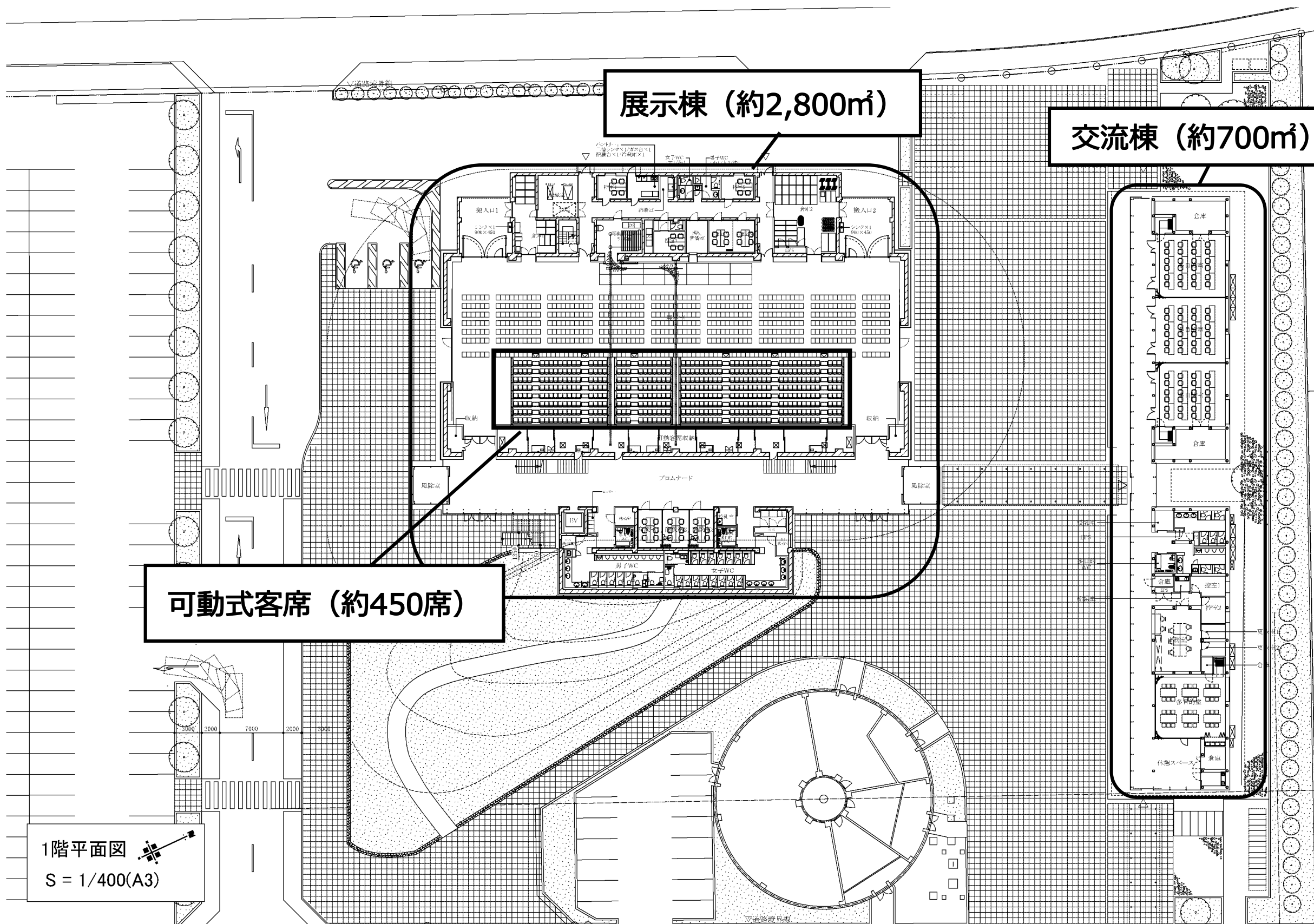
展示棟 (約2,800㎡)

交流棟 (約700㎡)

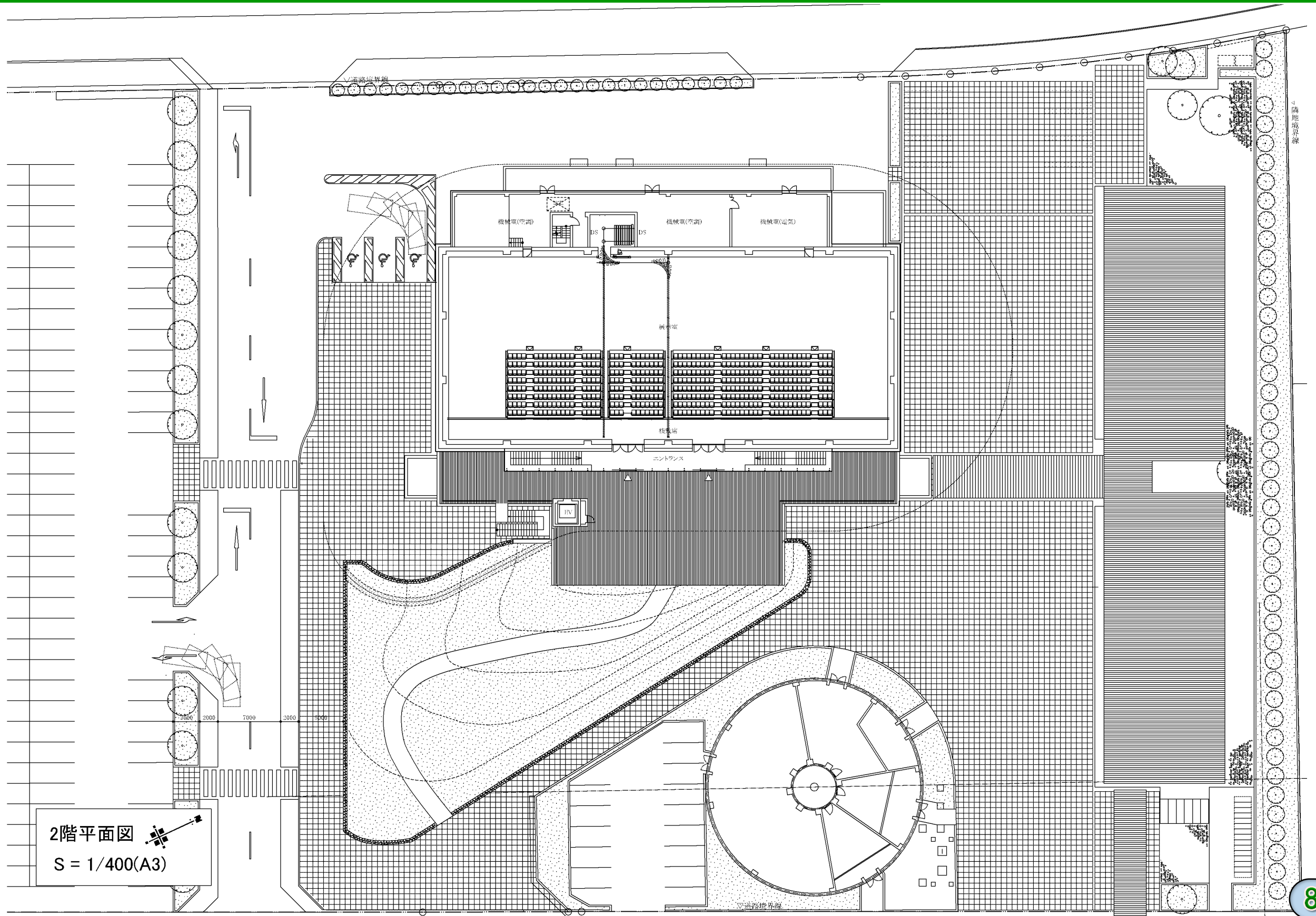
可動式客席 (約450席)

1階平面図

S = 1/400(A3)



平面図(2階)



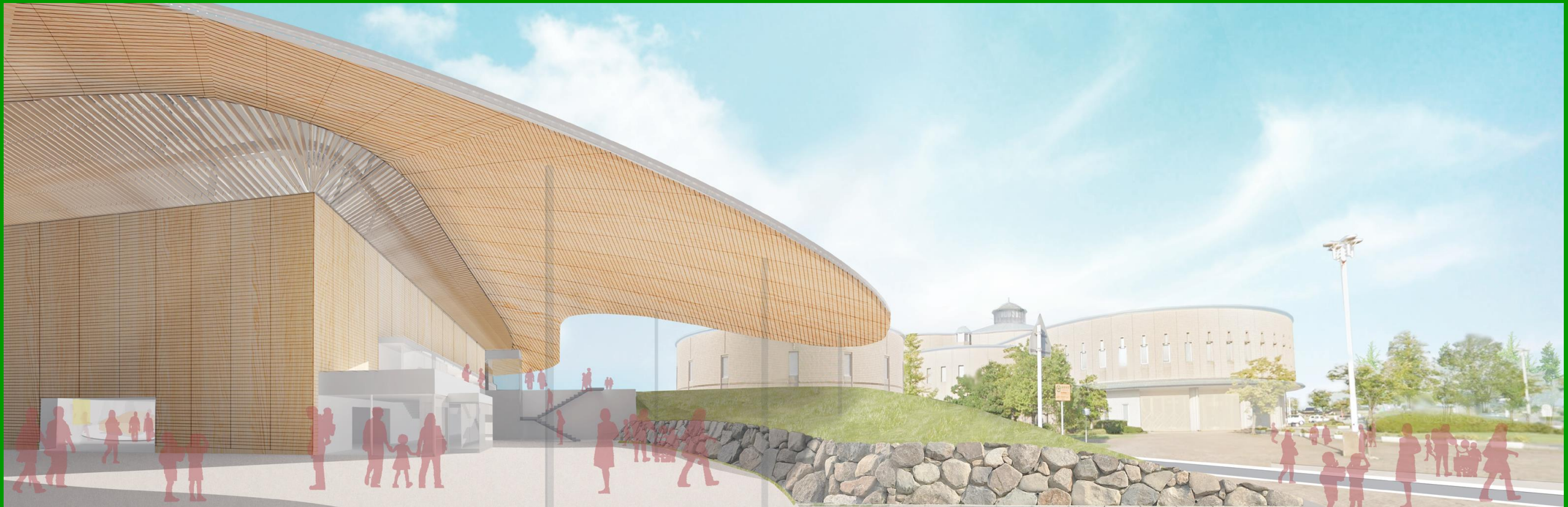
2階平面図
S = 1/400(A3)

整備位置

新高岡駅、イオンモール高岡、テクボーム本館などの周辺の施設との円滑な動線を確保するため、**現施設駐車場北側に整備**

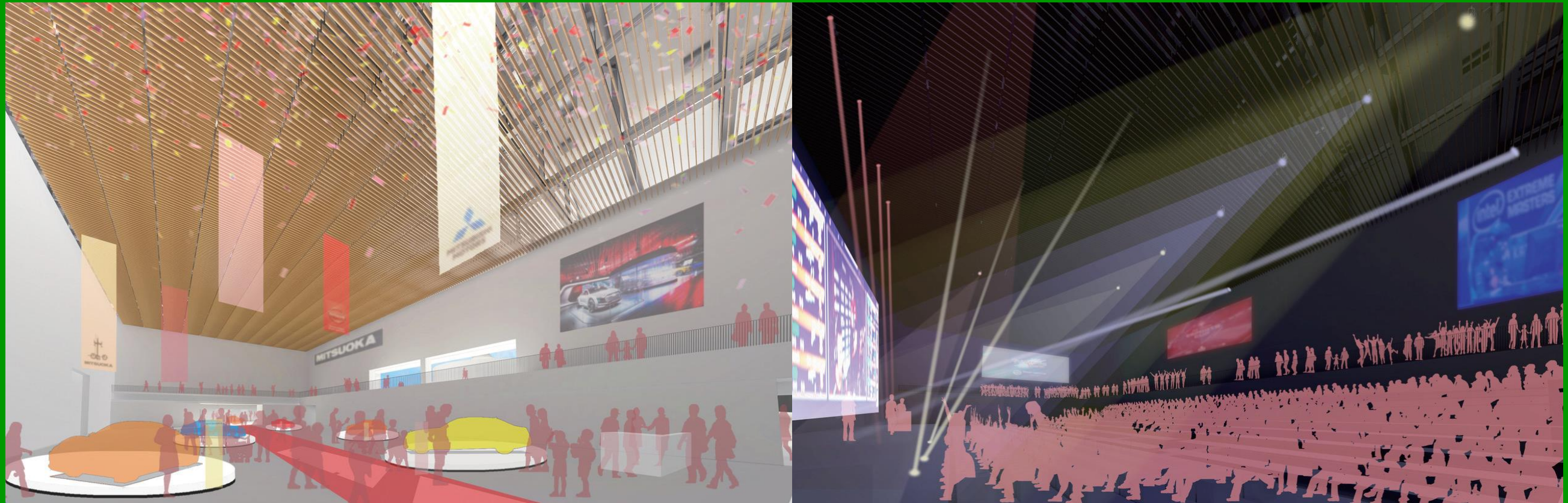


主な特徴①



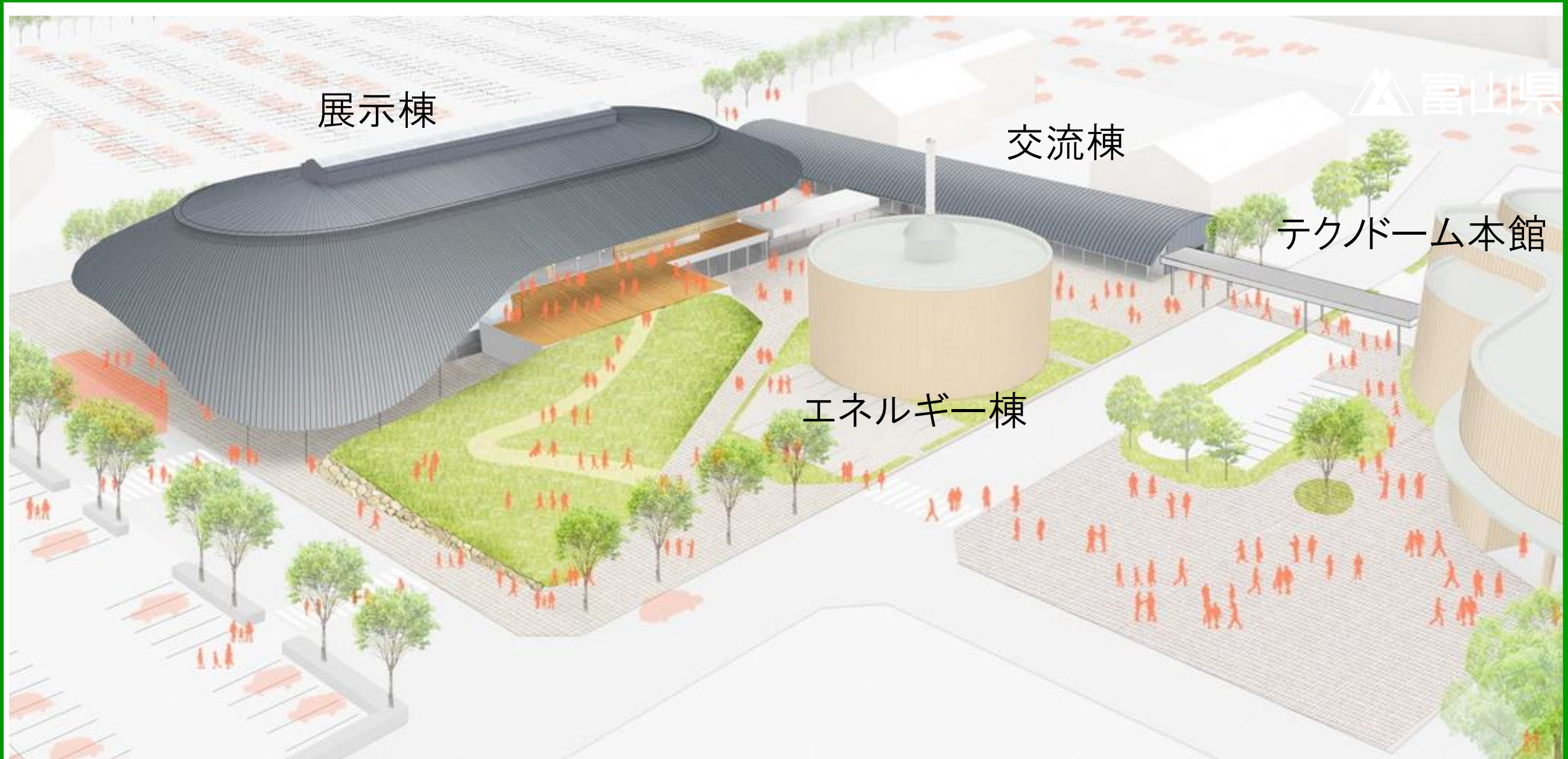
- 展示棟を包む**大屋根**と、その下の**半屋外空間**
のきてん
(大屋根の軒天や外壁は**県産材**で**木質化**)

主な特徴②



- 可動式客席や5G設備を導入し**多目的に利用可能な展示場**
(**最大1,200席**設置可能)

主な特徴③

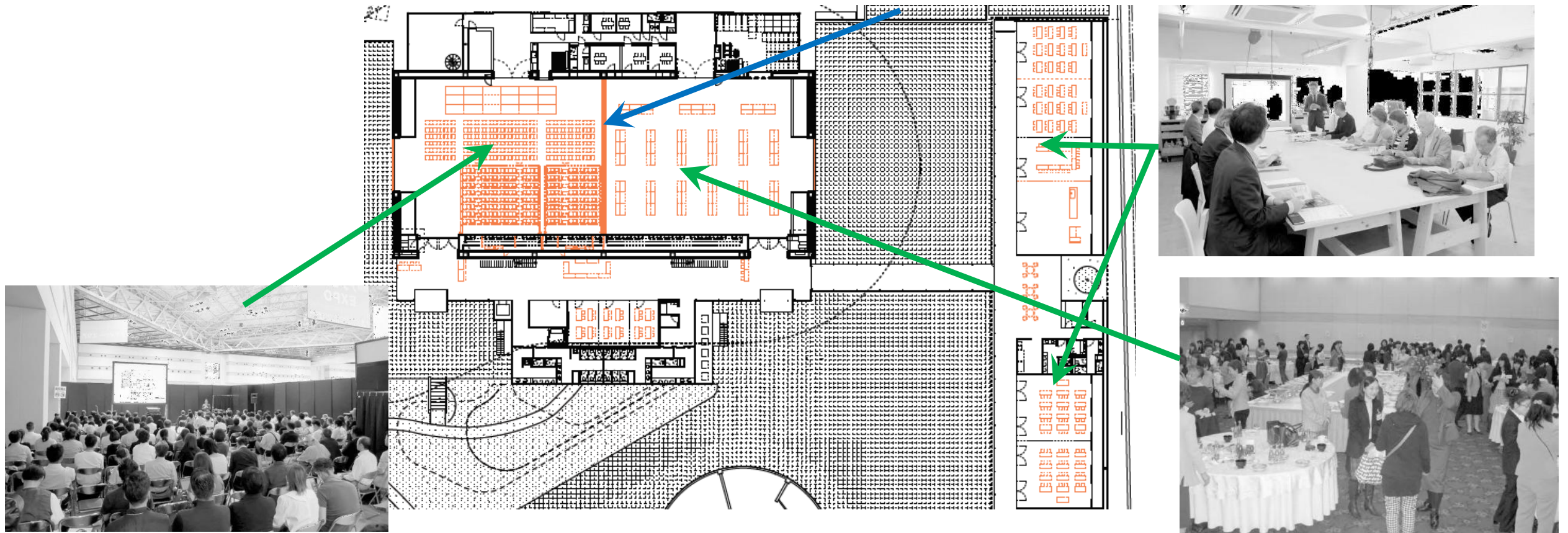


- テクドーム本館と別館がエネルギー棟を中心に向かい合い、その間に中庭やテラスを配置し、賑わい・憩いの空間を創出
- 地下熱や太陽光を利用する設備を導入し、省エネルギーに配慮

活用例①（コンベンション）

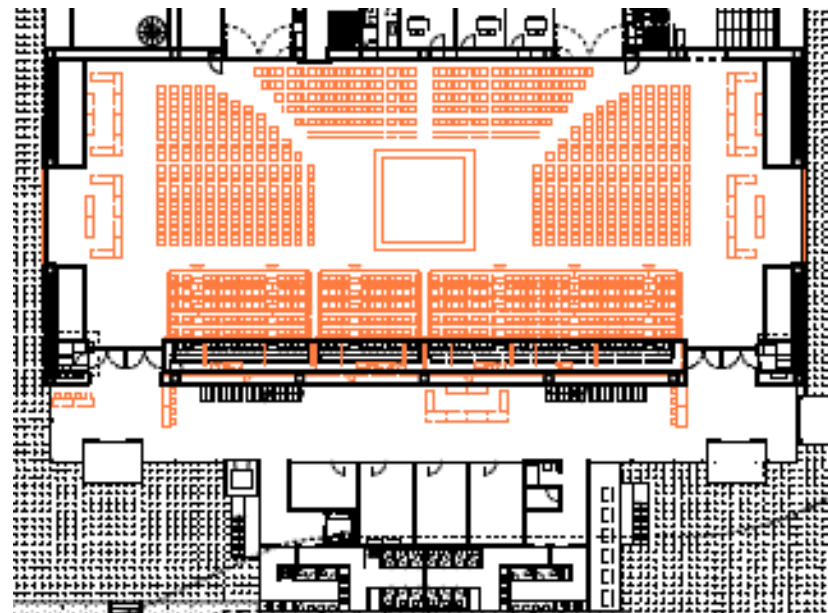
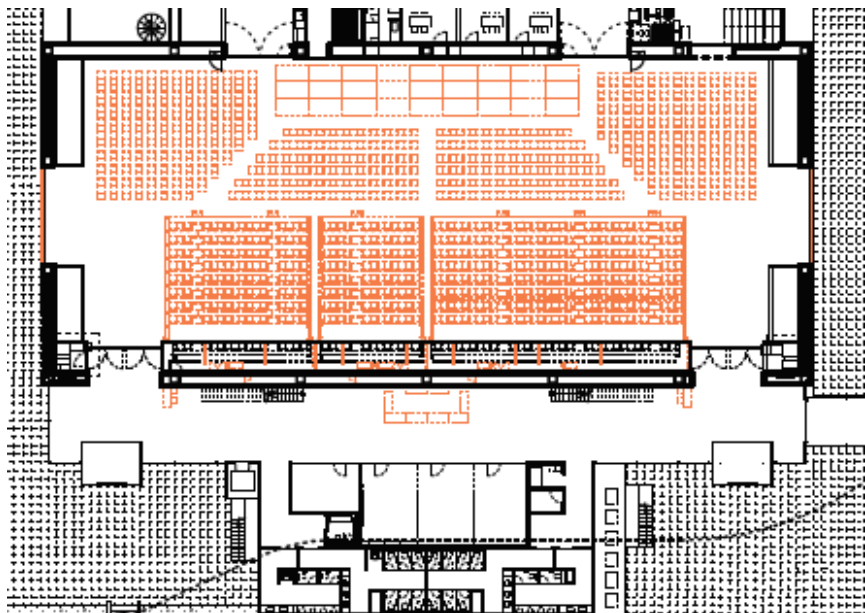
- 講演会、交流会、分科会、展示会など**大規模なコンベンション**の開催が可能

可動間仕切りにより分割利用にも対応



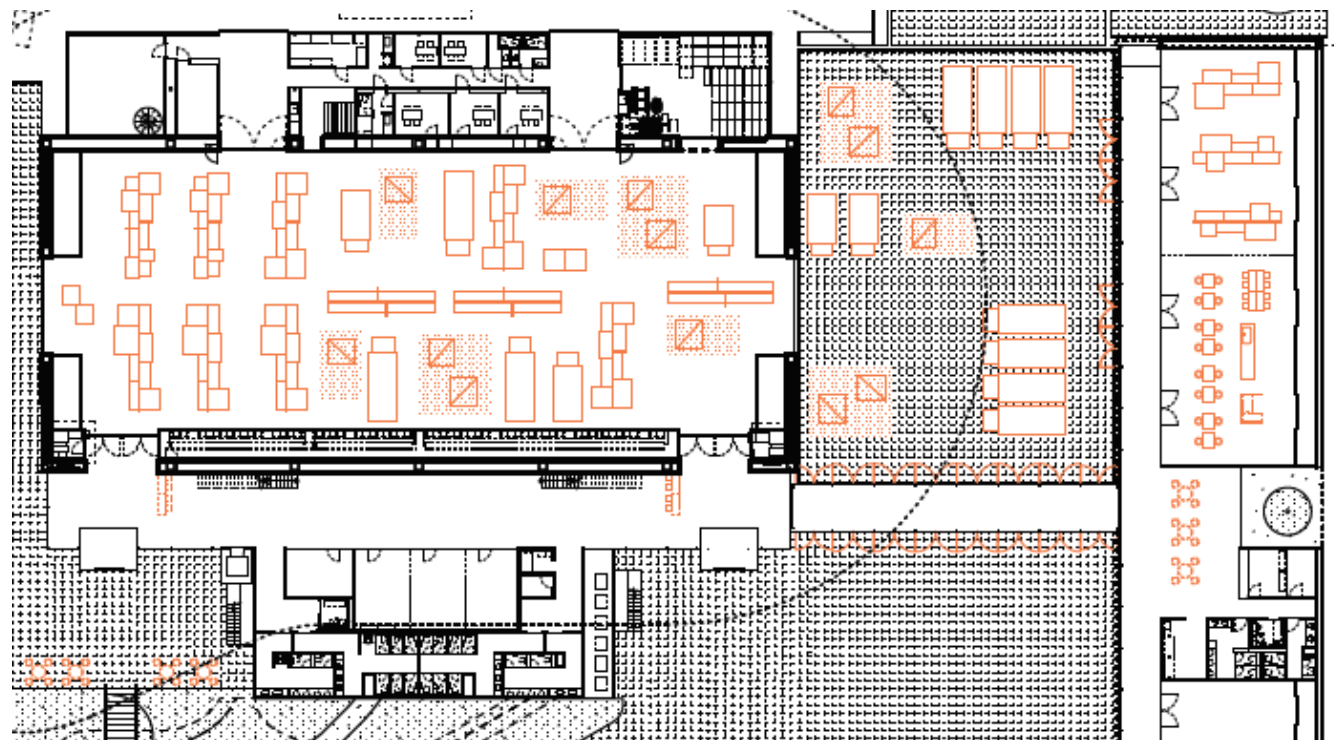
活用例②（大規模イベント）

- ステージや可動式客席のレイアウトにより、パブリックビューイング、コンサート、eスポーツイベントなど **大規模イベント**の開催が可能



活用例③（物販展示、産業展示等）

- 屋内展示場と屋外広場との一体的な展示が可能
（展示場の扉を開放）
- 本館大展示場と連携した活用も可能



別館建設概要

構造・規模	鉄筋コンクリート造＋一部鉄骨造 地上2階、建物高さ 約18m	
面積	延床面積約3,500㎡、建築面積約4,000㎡	
展示場	面積約1,000㎡、天井高9m、最大席数1,200席	
主な諸室など	展示棟	交流棟
	<ul style="list-style-type: none"> ・展示場 ・商談室(3室) ・プロムナード 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的室(4室) ・事務室 ・休憩スペース
展示場の備 主要設	<ul style="list-style-type: none"> ・可動式客席(約450席) ・可動間仕切り(1:1と1:2の2パターンの分割可) ・大型仮設スクリーン ・仮設ステージ ・5G設備 	


高岡テクノドーム別館整備事業への民間活力の導入

財政負担の軽減や民間ノウハウの活用を検討するため「**民間活力導入可能性調査**」を実施（令和3年度）



施設の利用促進・サービス向上を図るため、管理運営に民間活力を導入（設計・建設は県が従来手法で整備し、PFI法による手続きで**運営事業者**を選定（**○方式**））

- ・ 運営事業者と財団がどのような役割を担い、また協力することで、**両館の一体的な運営**が実現できるかを含め、高岡市や地元経済界とも相談し検討中。
- ・ 来年度中に運営事業者が決まり次第、**事業者には開催イベントの誘致に取組んでいただく**。民間ならではの創意工夫により、幅広いイベントが誘致されることを期待。



別館の整備にあたっては、より魅力的なイベントの開催や既存の本館との一体的な運営による相乗効果を期待しており、今回のプラットフォームでは今後の事業運営の参考とするため、会場の皆さまから忌憚のないご意見・ご提案をお願いします。



ご清聴ありがとうございました